

羽

No. 1

24.XI.1978

百万石蝶談会

TOBU: HYAKUMANGOKU TYŌDANKAI

1978年度医王山における蝶の標本リスト

吉村久貴

1978年に医王山一帯で採集した蝶のリストを記す。

5月25日

サカハチチョウ 1ex 見上峠付近
ミヤマカラスアゲハ 1ex 医王の里
アオバビロリ 1ex "

5月28日

ミヤマカラスアゲハ 1ex 重山 道路
サカハチチョウ 1ex 重山 山荘

6月13日

ヒオドリシチョウ 1ex 医王の里
テングチョウ 3ex キゴ山
クモガタヒョウモン 1ex "
アカシジミ 2ex 医王の里

6月15日

クモガタヒョウモン 1ex キゴ山

6月27日

クモガタヒョウモン 1ex 医王の里

6月30日

オオミドリシジミ 2ex 医王の里
ミスイロオナガシジミ 4ex "
ジョウザンミドリシジミ 1ex 医王の里
エソミドリシジミ 1ex ~ 重山分岐

7月1日

ウラギンヒョウモン 1ex 医王の里
オオミドリシジミ 1ex "
エソミドリシジミ 2ex 重山分岐
アカシジミ 1ex ~ 奥医王
ジョウザンミドリシジミ 1ex 1ex
ミスイロオナガシジミ 2ex

7月2日

ウラクロシジミ 2ex 重山分岐~奥医王
ウスイロオナガシジミ 1ex "
エソミドリシジミ 5ex "
ジョウザンミドリシジミ 8ex 1ex "
アイミドリシジミ 1ex 重山分岐~奥医王
" 3ex 奥医王
メスアカミドリシジミ 1ex 重山分岐~奥医王
" 1ex 奥医王

7月4日

ウラゴマダラシジミ	1ex	重山分岐～奥医王
ジョウサンミドリシジミ	2♂3♀	"
ウスイロオナガシジミ	2ex	"
トラフシジミ	1♂	"
アカタテハ	1♂1♀	"
アサマイチモンジ	1♀	"

7月5日

ウラクロシジミ	1♂1♀	重山分岐～奥医王
ウスイロオナガシジミ	1ex	"
エゾミドリシジミ	2♀	"

ジョウサンミドリシジミ	1♂	重山分岐～奥医王
ミドリシジミ	1♂1♀	奥医王
"	1♀	医王の里
オオミドリシジミ	1♀	"
テングチョウ	1ex	"
オオウラギンスジヒョウモン	1♀	重山分岐 ～奥医王

7月9日

ジョウサンミドリシジミ	1♂	重山道路
エゾミドリシジミ	1♀	"
トラフシジミ	1ex	"
クロヒカゲ	1ex	"

今年からゼフィルスに興味を持ち、医王山での採集を始めたが、思ったより多くいるので喜んでいきます。

溪谷の蝶

松井正人

1. 倉谷川 1978年6月1日

ダムより倉谷部落跡まで約1時間、ここよりシャクナゲ尾根との分かれ道まで約30分、ここより1時間値しか奥へ入っていないが、道も堰堤もなく割と歩きやすい。しかし数回の渡渉はやむを得ない。

- | | |
|---------------------|-----------------------|
| 1. オナガアゲハ 1ex. | 8. モンキチョウ 1♀ |
| 2. (ヤマ?) カラスアゲハ 9♀ | 9. ヒリタテハ 2ex. |
| 3. キアゲハ 1ex. | 10. サカハチチョウ 9♀ |
| 4. アゲハチョウ 2ex. | 11. コミスジ 数頭 |
| 5. ウスバシロチョウ 9♀ | 12. スギタニルリシジミ 1♂ |
| 6. ツマキチョウ 1♂ | 13. ヒメウラナミシジメ 1ex. |
| 7. (エゾ?) スジグロチョウ 数頭 | 14. キマダラヒカゲ属 sp. 2ex. |

2. 直海谷 1978年7月16日

奥谷より少し入った所で道は2分し、1つは河原歩きコース、1つは谷に沿う車道コースである。河原コースはすぐ滝にぶつかってしまう。この滝を越えるには覚悟が必要である。車道コースは、車は通ることにはできないが、歩くには十分すぎる。車道コースを30分位行った所から道端にナンテンハギが見られるが、今だにアサマシジミは発見されていない。車道終点付近に奈良岳登山口がある。(頂上まで4時間)

1. (ミヤマ?)カラスアゲハ 数頭
2. クロアゲハ 1♀
3. (エゾ?)スジグロチョウ 数頭
4. アサマイチモンジ 数頭
5. オオウラギンシジミ 1♂2♀♀
6. ウラギンヒョウモン 1♂
7. ミドリヒョウモン 数頭
8. イチモンジチョウ 数頭
9. ルリタテハ 1ex

10. アカタテハ 1ex
11. サカハチチョウ 多
12. テンゴチョウ 1ex
13. ベニシジミ 数頭
14. ルリシジミ 5♂♂1♀
15. ジョウザンミドリシジミ 7♂♂2♀♀
16. ミドリシジミ 2♀♀
17. コチャバネセセリ 1ex

3. 瀬波谷 1978年7月9日

国道157号よりいっくらか入るとすぐガタホコ道となる。この道をずっと行くと2分し、一方は山の方へ登る道、一方は谷歩きの道である。谷歩きの道には立入禁止のタテカンがあるが、無視して入る。谷道を行くとすぐに工事現場に出るが、素通りして奥へ行く。川の中を進んでもよいが、踏み分け程度の道も付いている。途中大きな堰堤があるが川上に向かって左にまき道が付いている。

1. (ミヤマ?)カラスアゲハ 数頭
2. キアゲハ 2exs
3. アゲハチョウ 1ex
4. コミスジ 数頭
5. ミスジチョウ 1ex
6. ミドリヒョウモン 数頭
7. アカタテハ 1ex
8. ルリタテハ 2exs
9. サカハチチョウ 多

10. ルリシジミ 数頭
11. ミドリシジミ 1♀
12. ウスイロオナガシジミ 1ex
13. コチャバネセセリ 2exs
- (14). (フジミドリシジミのようなチョウ 2exs)
- (15). (ウラゴマダラシジミのようなチョウ 1ex)

加賀市保賀町7月の蝶

松井正人

7月1日より27日にかけて保賀町の隅から隅まで歩き回ることができたので、その折々に見かけた蝶をここに報告する。こゝらはすべて目撃記録であるが、種をはっきり見定めたものばかりである。

保賀町のほとんどは水田であるが、町の西側を流れる大聖寺川の土手には色々な樹が見られ、南端にはスギ林もある。

目撃記録

- | | |
|--------------------------|-------------------------|
| 1. アケハチョウ | 10. アサマイチモンジ(民家の庭) |
| 2. キアケハ | 11. イチモンジセセリ(墓場・水田用土手) |
| 3. アオスジアケハ(民家付近でも沢山見られた) | 12. オオチャバネセセリ(墓場) |
| 4. モンシロチョウ | 13. ヤマトシジミ(民家付近) |
| 5. スジグロチョウ(ユツスジグロ?) | 14. ルリシジミ(7月の花) 7月10日 |
| 6. キチョウ | 15. ベニシジミ |
| 7. モンキチョウ | 16. コイシシジミ(スギ林) 7月6日 |
| 8. キタテハ(大聖寺川土手) | 17. ツバメシジミ(水田アゼ) 7月18日 |
| 9. コミスジ(墓場) 7月10日 | 18. ミドリシジミ(大聖寺川土手) 7月5日 |

日付の付いているものは、その日に1ex.ないしは2ex.しか目撃してはいないものである。

イチモンジチョウの食草

松本和馬

イチモンジチョウの食草としてタニウツギを確認したので記しておく。(タニウツギはイチモンジチョウの食草として知られているが、県下では食草の知見が少ないので…)

1978年5月21日、金沢市湯涌でイチモンジチョウ終令幼虫をタニウツギの葉上より採集した。その葉に幼虫によると思われる食痕を認め、また、周囲に他のスイカズラ科植物はなかった。持ち帰った幼虫はタニウツギで飼育し、6月4日に1子が羽化した。

山中温泉の蝶

松本和馬

ギフチョウの食性研究のため山中温泉(石川県江沼郡山中町)を何度か訪れた。その際に確認した蝶を記録する。この地のギフチョウの食草はナタデラカンアオイであることを確認した。これは従来アツミカンアオイとして扱われてきたものである。詳しくは改めて書く予定なのでここではこれ以上触れない。

以下、○は新鮮、◎は中間程度、⊙は汚損の意味で、鱗粉による個体の鮮度を示す。(採)は採集、(目)は目撃、(捕)は捕獲確認後逃がしたことを示す。

1977年11月18日(晴れ)

ギフチョウ 1♀(目)

キタテハ 1ex(目)

1978年5月10日(雨)

ギフチョウ 1令幼虫(目)

ナタデラカンアオイの葉裏に1株1群ずつ計3群を確認。うちわけは次の通り。

- 孵化直後のもの1群: 16exs (卵殻16exs)、摂食の様子なし。
- すでに摂食しているもの2群: 8exs (卵殻10exs、未孵化卵1ex)、21exs (卵殻21exs) とともに孵化後1日程度と推定される。

ナタデラカンアオイの葉はきわめて厚く硬くなるが、この日はすでに若葉がかなり硬化していた。幼虫はそれにめげることなく食いつくようだ。

1978年5月26日(晴れ雨量、たり)

ミヤマチャバネセリ 1♂◎(採)

ダイショウセリ 1ex(目)

コチャバネセリ 3exs(目)

ギフチョウ 2令幼虫計6exs(目)

3令幼虫計3exs(目)

いずれもナタデラカンアオイより

アゲハ 1ex(目)

モンキアゲハ 1ex(目)

カラスアゲハ 1♀(目) カラス

ザンショウに産卵中のもの

イチモンジチョウ 1ex(目)

コミスジ 1ex(目)

コジャノメ 1♂◎(採)

ヤマキマダラヒカゲ 1♂◎(採)

クロヒカゲ 1♀◎(採)

なお、カシヤンマ 1♂も採集した。

1978年6月9日(晴れ)

ギフチョウ 5令幼虫計8exs(目)

ナタデラカンアオイの葉裏、根際、地上などより

モンキアゲハ 1♂◎(死体目撃)

3exs(目)

スジグロチョウ(夏型) 1♂◎(採)

アカシジミ 1ex ⊙ (採), 2ex ⊙ (目)
ウラクロシジミ 1ex ⊙ (採)
" 5ex ⊙ (目)

クロヒカゲ 2ex ⊙ (採)
ヒメウラナミジャ 1x 2ex ⊙ (捕)

駒帰付近の蝶の記録若干

松本和馬

金沢市瀬領〜駒帰〜犀川ダム間での筆者の採集した蝶の記録のうち、主だったものをメモしておく。用いた記号は前文と同様である。

1977年5月11日

ミヤマセセリ 2♀ (採)

エゾスジグロチョウ 1♂ (採) ● 駒帰上流

1977年5月31日

モンキアゲハ 1ex (目) 犀川ダム

エゾスジグロチョウ 1♂ ⊙ (採) 駒帰上流

ミスジチョウ 1♂ ⊙ (採) 駒帰

1978年6月2日

ジャコウアゲハ 1♀ ● (採) 瀬領 : ウ2ノスズクサに産卵中。

" 卵計24卵を発見

クモガタヒョウモン 2♂ ⊙ (採) 駒帰

1978年6月3日

ミヤマチャバネセセリ 1ex ⊙ (目)

以上、手元の記録より抜き書きしてみました。

会員の動き

どうしたはずみか、大変なゼフィルスゲームである。何度かくりかえされたヒサスツ探索は全く未発見に終わったものの、副産物のミスイロ、アカ、パイノなどがウラジロガシから得られた。

松井氏は、ミコシコと各地のミズナウを当たり、少しずつ集めたアイノ卵はまもなく100に達するとか。新産地続出をおたのしみ。非常に残念なことに雨で予定のつづいた野中、松本のO型組は湯涌へ行って晴れ間を見てオナガの採卵少々。井村、入場の両氏は医王山にてフジミドリ、松本氏も同所に居合めせたがボーズ。今年よりぜつに開眼した吉村氏は石川県産ぜつをまとめるそうぞす。皆さん御協力をよろしく。嵯峨井、橋場の両氏はズームを横眼に見ながらオサ掘りなどにはげんでいるよう。

竹谷氏、本県2頭目の某種を記録された由。御発表を楽しみに種名はないしよ。(松本、記)

会の成り立ち

沈滞ぎみな石川県の蝶類研究の現状を何とかしたい。それとともに蝶や間の交流を広げ、楽しい集まりをつくりたいという願いのもとに百万石蝶談会は成立しました。会としての体裁もようやくできつつあるという状態で不備の点もあるかと思われませんが、会員全員のかぞもり立てて行きましょう。11月23日現在、次の事項が決定しています。

1. 会名 百万石蝶談会
2. 会誌 「翔」(とぶ)、発行は不定期。速報性を売りものにどんどん出したいと思えます。石川県の蝶の記録集積、県外での採集活動等の発表、その他蝶に関する自由な発言の場として活用して下さい。
3. 談話会 原則として月1回。会場は橋場清氏のお宅：金沢市東山1-2-4 TEL. 0762(52)3004
4. 会長 井村正行
5. 連絡事務 松井正人
6. 会誌担当 当分は松本和馬
7. 会費 6ヶ月につき500円、会誌発行に当てます。不足分はその時々徴収する。

目次

1978年度 医王山における蝶の標本リスト	吉村久貴	1
溪谷の蝶	松井正人	2
加賀市保賀町7月の蝶	松井正人	4
イチモンジチョウの食草	松本和馬	4
山中温泉の蝶	松本和馬	5
駒帰付近の蝶の記録若干	松本和馬	6
会員の動き		6
会の成り立ち		7

編集後記

長らくお待たせいたしました。会誌第1号をお届けします。このような編集の仕事は初めてで、不備な点が目立つと思いますが、お許し下さい。2号はすでに十分な原稿が集まり、近く発行できるものと思います。今後ともよろしくお願いいたします。

次号に住所録をつけようと思います。

まもなく冬になります。今後の御予定はいかがですか？近況などをお知らせ下さい。
(松本記)

翔 No.1 1978年11月24日発行

発行者：百万石蝶談会

連絡先：〒920 金沢市三ノ新町4-9-34

TEL. 0762(62)8688 松井正人 方

編集責任者：〒920 金沢市土清水町キ8-34

高沢アパート 松本和馬